

行程表

【日程第1】 2025年11月22日(土)

●集合・出発 13:00 福岡空港(1F・到着口北前集合)

◆福岡高校到着 14:00

*会長会議参加者以外はコモンホール待機又は校内自由見学
*1号車、2号車に分けて乗車(別紙乗車表参照)

《会長会議》 14:10~14:30(福岡高校同窓会室)

《在校生によるウエルカムイベント》 14:40~15:00(コモンホール)

*在校生「吹奏楽部」+「ダンス部出場」

《連合総会》 15:00~16:00(コモンホール)

●福岡高校出発 16:10

《世界遺産・宗像大社参拝》16:30~17:00

◆ホテル到着・チェックイン 17:20~17:40

*メルキュール福岡 [Munakata Resort & Spa] ☎0904-62-4111

●ホテル出発 17:40

《懇親会》18:00~20:00

*「ぶどうの樹(野々庵)」岡垣町 ☎093-282-3636

*最寄り駅: JR鹿児島本線・海老津駅(タクシーにて20分)

●懇親会場出発 20:00

◆ホテル到着 20:20

《2次会》 20:20~22:00

*ホテル内パーティーームにてにぎやかに交流会を開催します

*ホテルは「温泉露天風呂付“さつき温泉”」あり自由にご入浴ください!

*ホテルから最寄り駅: JR鹿児島本線・東郷駅(タクシーにて20分)

【日程第2】 2025年11月23日(日)

●チェックアウト・ホテル出発(ホテル玄関集合) 8:30

*前日同様に1号車、2号車に分けて乗車(別紙乗車表参照)
*車窓より宗像風景・宮地嶽神社山門・博多の街並み見学

◆櫛田神社到着 9:30

《櫛田神社・川端商店街・「博多町家」ふるさと館見学》

*1号車、2号車別に見学します(目印は青色の東海旗)
*福岡高校同窓会役員が案内(人出多し…迷子に注意!)

〔1号車〕9:30下車⇒櫛田神社参拝⇒9:45川端商店街⇒10:00川端ぜんざい(山笠展示)⇒10:15櫛田神社境内見学⇒10:30「博多町家」ふるさと館見学(展示棟～町家棟～みやげ処)
11:15 櫛田神社駐車場 【先導:高橋事務局長・案内役:竹原副会長(博多っ子代表)】

〔2号車〕9:30下車・櫛田神社参拝・境内見学⇒10:00「博多町家」ふるさと館見学(展示棟～町家棟～みやげ処)⇒10:45川端商店街⇒11:00川端ぜんざい(山笠展示)⇒11:20櫛田神社駐車場 【先導:花田事務局次長・案内役:鈴木会長(博多っ子代表)】

●櫛田神社集合・出発 11:30

*はぐれた方は、下車した櫛田神社駐車場に11:20分までに集合

《お別れの昼食会》 12:00～12:40

*昼食会場「博多芙蓉(旧芙蓉別館)」☎092-471-6111
*博多の名物「博多水炊き膳」を準備。ご賞味ください
*福岡空港へはタクシーで6分(すぐそこ)
*昼食会場でお別れのご挨拶をします

●昼食会場出発 12:40

◆福岡空港到着・解散 13:00

*空港降車場は空港規定であまり時間の猶予がありません…
*担当が支援しますので下車・手荷物受取を急いでください!

【行程中の緊急連絡】

- ・鈴木会長(090-9494-5669)・岩尾副会長(090-3195-9034)
- ・竹原副会長(090-8404-3361)

第48回 東海大学高等学校連合同窓会 総会

於:東海大学付属福岡高等学校 コモンホール

議長選出 (恒例により連合同窓会会長を指名)

第1号 議案

2024年度 経過報告 自 2024年4月1日~至 2025年3月31日

〈2024年〉

4月26日 ZOOM 会長会議

7月 6日 連合同窓会会長会議 於:東京フォーラム

7月11日 諏訪同窓会訪問

7月29日 静岡翔洋同窓会訪問

10月20日 「連合同窓会創設50周年記念」

連合同窓会定期総会開催 於:東海大相模高校

11月 4日 事務局会議(50th について)

〈2025年〉

2月 8日 ZOOM 会長会議

以上

第2号 議案

2024年度 会計報告（案）（別途資料参照）

第3号 議案

加盟各校 近況報告（別途資料参照）

第4号 議案

次回総会開催について 担当校・開催地について

第5号 議案

連合同窓会役員（案）（別途資料参照）

第6号 議案

2025年度 事業計画（案）

1. 東海大学高等学校連合同窓会の組織強化を図る

- ① 組織を強化するための企画・立案をすること
- ② 各加盟同窓会相互の親睦・交流のための事業をすること
- ③ 定期総会・懇親会を実施する

2. 東海大学・学園校友会発展に向けた協力体制の強化を図る

- ① 東海大学行事への参加（建学記念式典等）
- ② 学園校友会等行事の参加（東海大学学園校友会各ブロック総会等）

3. 研修会等の実施及び参加

- ① 連合同窓会役員研修会の実施
- ② 東海大学高等学校連合同窓会加盟各校同窓会事業への参加

4. 東海大学高等学校連合同窓会ホームページの更なる充実を図ること

5. その他、本会の目的を達成するために必要な事業を行う

第7号 議案

2025年度 会計予算(案) (別途資料参照)

第8号 議案 その他

— 議長解任 —

第2号議案

《 別 途 資 料 》

2024年度 会計報告

自:2024年4月1日~至:2025年3月31日

収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
前年度繰越金	¥699,040	¥699,040	¥0	2023年度繰越金
会費収入	¥500,000	¥500,000	¥0	会費(50,000円×10校)
広報費収入	¥200,000	¥200,000	¥0	負担金(20,000円×10校)
雑収入	¥41	¥436	¥425	普通預金利息
合 計	1,399,081	¥1,399,476	¥425	

支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
総会費	¥300,000	¥300,000	¥0	総会経費補助(相模高)
会長会議費	¥100,000	¥83,598	¥16,402	会場費・お茶代など
会長涉外費	¥30,000	¥25,964	¥4,036	お祝い金など
会長活動費	¥50,000	¥37,630	¥12,370	静岡翔洋、諏訪訪問など
広報宣伝費	¥200,000	¥200,000	¥0	東風の印刷製本代HP管理費含
事務費	¥30,000	¥23,340	¥6,660	振込手数料・郵送費・ゴム印等
予備費	¥200,000	¥161,167	¥38,833	連合同窓会50周年事業
繰越金取り崩し	¥0	¥300,000	¥300,000	連合同窓会50周年事業(相模高)
小計	¥910,000	¥1,131,699	¥221,699	
次年度繰越金	¥489,081	¥267,777	¥221,304	2025年度繰越金
合 計	¥1,399,081	¥1,399,476		

2024年度連合同窓会会計の決算を上記のとおり報告いたします。

令和7年7月5日

会計 田沢 弘道 印

// 長南 友行 印

2024年度連合同窓会会計の監査をしたところ、上記と相違ないことを証明します。

令和7年7月5日

会計監査 鶴岡 正拡 印

// 佐藤 英雄 印

第3号議案

近況報告

《別途資料》

(別紙様式2)

第48回東海大学高等学校連合同窓会総会		浦安	高等学校同窓会
会員数		24,396名	
在校生数		1,035名	
会費	終身会費	10,000円	会長:小林茂
	年会費	0円	

令和6年度 事業報告

令和6度のメインイベントである第5回ホームカミングデー(以下、HCD)を開催した。(総会は母校講堂、懇親会場は食堂にて実施)コロナ禍の影響により、度重なる延長で開催が遅れたため第12期~16期生の5期生を対象とし、ゲストスピーカーとして浦安卒業生で初めて褒賞を受勲された3期生の武蔵均氏(理容業界の巧者)に講演をいただいた。

また新入会員との繋がりを強化するため、卒業時と同期して会員データー(携帯番号、携帯アドレス、GmailまたはYahooアドレス等)の取得を母校の協力のもとに実行した。

さらに同窓会50周年記念事業以後、未実行であったコネクトチェック(第32期卒以降)を特別予算を計上して郵送にてアプローチし、卒業時の登録住所の着信可否を整理した。これにより、公式Web内の会員登録をより強化し、同窓会ネットワークの充実を図りさらに会員相互の関係づくりを活性化させる基盤を構築した。その他、当同窓会顧問青山氏が会長を務める東海大学高等学校連合同窓会の運営サポートと創立50周年記念式典へ共催した。(令和6年10月19~20日開催。相模高幹事)

<主な令和6年度の活動>

1. 令和6年度総会の開催(令和6年6月21日、CVSベイホテルタワーにて)
2. 第6回HCD開催(令和6年11月24日)。記念式典及び懇親会
3. 会員WGによる効果的な会員との繋がり及びデータベースの強化を検討
4. 中等部「浦安人生学」講座のサポート
5. 東海大学高等学校連合同窓会活動の支援と創設50周年記念式典への参画
6. 新公式Webサイトの利用者の拡充
7. 女性会員拡大と代議員の活用以上

令和7年度 事業計画

本年度は、新入会員との繋がりを強化するため、卒業時と同期して取得したコネクトデーター(携帯番号、携帯アドレス、e-mail等)を用いてメルマガ等を実行し、近況等の情報提供を行う。同時に現会員に対しても同様にコネクトデーターの強化のため、多方面から登録アプローチの手法を検討してゆく。

また浦安高に過去在学し、事情により途中転校を余儀なくされた元生徒に対し、当同窓会活動に積極的な参加意思のある方との協働の場づくりを設ける。(準会員制度の検討)

さらに次回第6回HCD(令和9年秋開催予定)は、母校で初めて女性生徒が卒業した第17期生以降にフォーカスして、女性会員データーの強化と会員拡大へ繋げてゆく機会としたい。その為にも、今年度より早期にHCD実行委員会準備会を立ち上げ、女性会員を基軸とした組織化を検討してゆく。

なお中等部向「浦安人生学」講座をはじめ、母校の行事を継続してサポートしてゆく。

<主な令和7年度の活動計画>

1. 令和7年度総会の開催(令和6年6月27日、ホテルオークラ東京ベイにて) <了>
2. 会員登録サイトでの効果的な会員との繋がり及びデータベースの強化を検討
3. 第6回HCD実行委員会準備会の検討会(次回第17期生以降は女性卒が現有会員)
4. 中等部「浦安人生学」講座のサポート<了>
5. 東海大学高等学校連合同窓会活動の支援と総会(担当福岡高)への参画
6. 新公式Webサイトの利用者の拡充
7. 準会員制度の確立と女性会員拡大

同窓会 HP アドレス	http://www.tokai-urayasu.net	Eメールアドレス	info@tokai-urayasu.net
-------------	---	----------	------------------------

近況報告

(別紙様式2)

第48回東海大学高等学校連合同窓会総会		東海大相模	高等学校同窓会
会員数		33,962名	
在校生数		2,115名	
会費	終身会費	10,000円	報告者氏名
	年会費	0円	郡 偉平太(23期)

令和6年度 事業報告

定例会としては 2か月に1度、上は66歳(13期)~下は52歳(27期)の役員10数名が母校に集まり、学校・学園近況報告及びその時々に上がった議題を協議し、相模高校同窓会がより良い方向に発展すべく活動いたしております。

主な支援及び活動内容 ○定例会 ○野球部甲子園出場アルプススタンド入場券配布、応援ポスター作成 ○サッカーチーム全国高校サッカー選手権初出場応援ポスター作成、神奈川新聞応援広告掲載 ○ラグビー部、男子ソフトテニス部、陸上競技部、柔道部、剣道部、男子バスケットボール部、ダンス同好会に全国大会出場祝金として5万円 ○東海大学同窓会相模支部総会出席 ○土井校長退任慰労会 ○中出校長就任懇親会

昨年9月に刷新された同窓会ホームページ(以下HP)は、24期 Billy 小林(今回連合は残念ながら欠席)を軸に、事あるごとにこまめな更新、1期~29期までのホームカミングデータ情報、ID・パスワード登録者には歴代卒業アルバム閲覧可能など、工夫を重ね登録者が少しでも増えれるべく努力しております。

新しいHP作成にあたり、東海大仰星高校同窓会役員の皆様のご教授、ご協力が有りましたことを1年遅れとなってしまいましたが、厚く御礼申し上げます。おかげさまでとても良いHPを作ることが出来ました。本当にありがとうございました。

最後に、同窓会役員(会計監査)として共に活動して参りました、星野貴和先生(12期)が2025年2月21日に逝去されました事を、この場を借りてお知らせさせて頂きます。

同窓会HPアドレス	tokaisagami-alumni.com	Eメールアドレス	ippeitak.tokai.sagami@gmail.com
-----------	------------------------	----------	---------------------------------

近況報告

(別紙様式2)

第48回東海大学高等学校連合同窓会総会		高輪台	高等学校同窓会
会員数	31,069名	報告者氏名	
在校生数	1,400名 中学生除く		
会費	終身会費 年会費	10,000円 2,000円	内村 宏幸

近況報告

・同窓会役員活動に関する課題と取り組みについて

1. 役員の高齢化と若手参加の不足

現在、高齢の卒業生を中心とした活動が主となっており、若年層の参加が十分とは言えません。取り組みとしては、以下を推進いたします。

SNS等のデジタルツールを活用し、若年層との接点を増やす

学年別・年代別のミニ同窓会を企画し、援助金制度を活用して参加を促す

2. 役員・活動者のなり手不足

毎回、限られた方々に活動の負担が集中している現状があります。今後の対応としては、以下を検討しております。

役割分担の平準化を図り、個々の負担を軽減する

オンライン会議の導入により、参加のハードルを下げる

・母校への支援や在校生への応援

1. 高輪会設立75周年記念事業

来年、高輪会は設立75周年を迎えます。これを記念し、在校生への支援として記念品の寄贈を予算案に盛り込みました。具体的には、総合グラウンドへのアクセス強化を目的とした「車両の寄贈」を起案しております。

2. 海外交流支援

母校では、毎年、学業優秀者の中から2名を選び、海外交流を目的とした派遣を行っております。本年度は、そのうち1名分の援助金を高輪会より支出することを役員会にて決定し、予算案に計上いたしました。

同窓会HPアドレス	https://www.web-dousoukai.com/takanawadai/	Eメールアドレス	frjfp510@ybb.ne.jp
-----------	---	----------	--------------------

近況報告

(別紙様式2)

第48回東海大学高等学校連合同窓会総会		熊本星翔	高等学校同窓会
会員数	29826名	報告者氏名	
在校生数			
会費	終身会費	10,000円	久末博義
	年会費		

令和6年度 事業報告

2025年3月の卒業生は、累計29,826名になり、来年2026年3月の卒業生総数は30,000名の大台を超える事になります。感慨深いものがあります。

本年は、107回全国高等学校野球選手権大会に出場する事が出来ました。その節は大変お世話になり誠に有難うございました。同窓会では、5年前からクラブ活動助成金という名目で、インターハイ前にスポーツクラブ、文化クラブ全てのクラブに一律10,000円を配布し、各種大会で顕著な成績や学校に大きく貢献されたクラブ・個人に対しては別途功労金を贈呈しております。本年10月4日にホームカミングデイを行う事になりました。今回は8年振りの開催もあり、手探りの感がありましたので2つの卒業期にまたがって行う事にしました。

また10月16日は、社会で活躍されている12名の卒業生をお呼びして先輩学講座を開催する事になります。こういう学校と一体となった行事を通じて、同窓会活動の裾野を広げ、老若男女が集う開かれた同窓会活動を進めて参りたいと思っております。

一方同窓会の県内及び県外支部やクラブOB会、卒業同期会、同窓生の経済同友会などに積極的に参加を進めて行きたいと考えております。それと並行して、より新しい鮮度の高い同窓会名簿の更新を進めて行きたいと考えております。

令和7年度 事業計画

<2025年度主な同窓会活動>

1. 役員定例会及び臨時役員会	4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、2月、3月
2. 入学式	4月7日
3. 東海大学熊本県学園校友会	4月26日
4. 同窓会総会・懇親会	5月24日
5. 人吉支部総会・懇親会	6月6日
6. 八代支部(八代望星会)総会・懇親会	6月21日
7. 連合同窓会会长会議	7月5日
8. 陸上部OB会	6月24日
9. 東海学園校友会	6月30日
10. 野球部OB会	7月5日
11. 全国高校野球選手権大会出場	8月11日～8月15日
12. 名古屋支部総会・懇親会	9月19日
13. 星翔高校体育祭	9月18日～9月19日
14. 藤崎宮秋季例大祭	9月21日
15. ホームカミングデイ	10月4日
16. 先輩学講座	10月16日
17. 東海大学同窓会熊本支部総会	10月18日
18. 星翔祭((文化祭)	11月1日
19. 連合同窓会総会 福岡高校開催	11月22日～11月23日
20. 熊本県高校同窓会連絡協議会	未定
21. 同窓会入会式	未定
22. 星翔高校卒業式	未定
23. 東海大学学位授与式	未定

同窓会 HP アドレス

www.rengo-tokai.jp/tokai2/

Eメールアドレス

近況報告

(別紙様式2)

第48回東海大学高等学校連合同窓会総会		札幌	高等学校同窓会
会員数		20,133名	報告者氏名
在校生数		960名	吉野憲彦
会費	終身会費	7,200円	
	年会費	0円	

近況報告

今年の春には 野球部が選抜高校野球に出場し 1回戦を勝利致しました。

皆様のご声援、ご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

今年は 諸事情があり学校行事などに参加しておりませんでしたが 入学式、建学祭と盛大に慣行されたと聞いております。

4月に連合同窓会のズーム会議を実施。これは旅費等高騰する交通費の削減による会議でした。

7月には 連合同窓会の会議を開催し 次回の総会開催地の発表、各学校へのクラブ支援金のあり方などを協議しました。

今後につきましては ホームカミングデイの開催、又 新規役員の加入により若返りをはかり良き伝統の継承と今の時代にマッチした同窓会作りをめざします。

同窓会 HP アドレス	www.rengo-tokai.jp/tokai4/	Eメールアドレス	nyoshino30@outlook.jp
-------------	----------------------------	----------	-----------------------

近況報告

(別紙様式2)

第48回東海大学高等学校連合同窓会総会		大阪仰星	高等学校同窓会
会員数	15,228名	報告者氏名	
在校生数	1,105名		
会費	終身会費 年会費	15,000円 なし	西谷 卓浩

近況報告

今年度の予定として、11月22日(土)ニューオーサカホテル新大阪にて、9期生ホームカミングデイを開催します。9期生は元メジャーリーガーで野球解説者の上原浩治氏、同じく元メジャーリーガーで現千葉ロッテマリーンズコーチの建山義紀氏、元ラグビー日本代表の大畠大介氏が在籍した年代です。3名とも出席していただける方向で調整しております。

11月29日(土)には大阪梅田グランフロント内レストランにて、4期生ホームカミングデイを開催します。こちらは午前中学校見学を行った後、グランフロントに移動して懇親会を行う予定です。コロナ禍で4~7期生のHCDを中止した影響により、昨年度は7・8期生HCDを同時開催し、今年度は4・9期生、来年度は5・10期生という形でしばらく2期同時開催を実施しています。

また、11月29日(土)は本校同窓会総会を4期生HCD学校見学にあわせて開催いたします。その他12月13日(土)仰星同窓会ゴルフコンペ、1月12日二十歳の集いを予定しています。

同窓会HPアドレス

www.gyosei-alumni.jp

Eメールアドレス

近況報告

(別紙様式2)

第48回東海大学高等学校連合同窓会総会		市原望洋	高等学校同窓会
会員数	13,008名	報告者氏名	
在校生数	889名		
会費	終身会費 年会費	5,000円 0円	嘉須利 誠一

近況報告

- ・2024年11月23日 共学化された望洋高校として初の第1回ホームカミングデイを開催
- ・毎月 第2日曜日 ホームカミングデイ委員会、同窓会役員会を定例開催
- ・2024年度卒業生より終身会費を改定:各方面よりご協力を賜りありがとうございました。
- ・2025年5月 関東大会出場決定(射撃部、ソフトボール部、女子剣道部)
- ・2025年6月22日 2024年度同会定期総会を開催
- ・2025年8月 吹奏楽部が東関東吹奏楽コンクールに出場決定
射撃部が第79回国民スポーツ大会に出場決定
- ・2025年11月 全卒業年度を対象とした「評議委員会議」を開催予定
- ・2026年11月 第2回 ホームカミングデイを開催【予定】
- ・市原望洋高校では、学校主幹者との定期交流を行うとともに、同窓会・後援会・望洋会(後援会のOB会)とも交流を深め、母校の発展に貢献してまいります。
- ・本校同窓会の課題は、資金不足(終身会費)と役員候補者不足です。学校とも協力しながら改善に努めてまいります。今後もご指導とご鞭撻のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

同窓会 HP アドレス	https://www.boyo.tokai.ed.jp/graduate/	Eメールアドレス	dosokao@boyo.tokai.ed.jp
-------------	---	----------	--------------------------

近況報告

(別紙様式2)

第48回東海大学高等学校連合同窓会総会		望星	高等学校同窓会
会員数	35,743名	報告者氏名	
在校生数	1,450名		
会費	終身会費 年会費	5,000円 0円	金谷 義孝

近況報告

コロナの間に改築された新校舎だが、小ぶりになったが最新設備で勉学空間としては快適なようだ。学校行事も通常通り行われるようになり、今年度の春季卒業式は代々木校舎で秋季卒業式は望星新校舎で行なわれた。

今年の望星同窓会総会並びに懇親会を望星新校舎でケータリングサービスを行った。参加人数は先生たちを含めても50人ほどであったが、懐かしい顔もあり徐々に増加する気配を感じた。今後は在校生も無料で招待して同窓生との交流も図りたい。

今年度も後期に入り、秋季の卒業式と建学祭を残すのみとなった。建学祭での同窓会の出し物は、名物のフランクフルトソーセージと青森で同窓生が生産しているリンゴジュースの販売であるが、毎年ご近所さん的好評も得ている。

今後は後継者の育成が最大の課題ではあるが、いまだ育成が達成されたとは言えない。現在の主たる役員も高齢になってきた。役員が退任していく、後を任せれば自然発生的に新役員が決まっていくであろう。

我々が思うような体制にならなくても、それが現代風な同窓会のあり方であればそれはそれでよいのであろう。ただ建学の精神まで忘れ去られた同窓会にはなって欲しくはないと思うが、それは欲張りなのであろうか。現役員も新しい考え方を最大限にバックアップしたい。

当校の会則の目的である会員相互の親睦と母校の発展に寄与する事。の新しいやり方に変化しても、望星らしさが残らんことを切に望むこの頃である。

同窓会 HP アドレス	https://www.rengo-tokai.jp/bosei/	Eメールアドレス	k.iaa@ac.auone-net.jp
-------------	---	----------	-----------------------

近況報告

(別紙様式2)

第48回東海大学高等学校連合同窓会総会		甲府	高等学校同窓会
会員数	18,926名	報告者氏名	
在校生数	654名		
会費	終身会費 年会費	10,000円 0円	早川 賢

近況報告

昨年の第51回同窓会総会にて第四代東海大学付属甲府高等学校同窓会会長を拝命いたしました早川です。本校は東海大学建学の精神に則り文武両道の教育活動を展開しており、体育会系では柔道部、サッカーチーム、バレー部、アーチェリー部、ラグビー部、チアダンス部、文科系では吹奏楽部、自然探究部が顕著な活躍をしており同窓会としても大変誇らしく思っております。本同窓会としても今まで以上の支援をしていきたいと思います。

本高同窓会運営に関しては40歳になる当番幹事が昨年同様見つからず大変苦労しました。しかしながら、総会運営は最優先事項ですので私は「ピンチこそ最大のチャンス」と切り替え「原点回帰」をテーマに本役員自身が40歳の当番幹事時代を思い起こし、総会、懇親会等の企画立案・運営をいたしました。毎月行われる役員会の度に「ここはこうしたらもっと良くなりますね」「こうゆうのを取り入れたらどうでしょう」等の前向きな意見が多数出され、無事10月12日総会、懇親会は終了いたしました。

今回の内容を骨格とし課題点を修正し来年に活かしてゆく所存です。「SNS の展開」「卒業生である経営者の集い」はもっともっと充実させ同窓会をパワーアップさせていきます。また直近では9月 27 日の建学祭において恒例の「餅つき大会」を校友会各団体も巻き込み、在校生、保護者、教職員より大好評を得て無事おえる事となりました。

また、今年度より学校への支援の一環として各部活動へ「報奨金」「支援金」の内規を作成し、今まで以上に同窓会として学校をバックアップ＆サポートしていく考えです。

同窓会役員は同窓生の意見を取り入れ、より身近で存在感のある同窓会に発展出来るよう舵取りをしていきたいと思っております。また、本校の東海大学への帰属意識を強くする為にも校友会と連携し「研修」等を企画し充実させて参ります。

同窓会の発展は母校と両輪のごとく連携強化を図るとともに、連合同窓会会員の皆様のご意見、お知恵をいただきながら取り組む所存です。

なお一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

同窓会 HP アドレス	www.rengo-tokai.jp/kofu/	E メールアドレス
-------------	--------------------------	-----------

近況報告

(別紙様式2)

第48回東海大学高等学校連合同窓会総会		福岡	高等学校同窓会
会員数		22,008名	報告者氏名
在校生数		1,061名	
会費	終身会費	10,000円	事務局長:高橋勇次
	年会費	0円	

令和6年度 事業報告

令和6年~7年の近況報告

~会員の相互交流と母校の発展をめざして~

1. 同窓会の周知を図るため生徒をはじめ学園関係団体との交流促進

3年前から学内活動団体交流組織「TOKAIユリの会(会長:花田聰子さん・同窓会事務局次長)」が発足した。これは、母校に関する団体等が親しく交流する機会が薄いため親睦を深めようとするものである。本会は、年2回程度「かまどの会」と称し誰もが気軽に参加できるように校内の生徒体験施設(BBQコーナー)を活用して安価の参加費にて開催。現在、部活動を中心とした教員の参加をはじめ、保護者会、部活動保護者会、教員OB、そして同窓会役員が参加して交流を深めている。今年も7月に開催し、30名程度の参加者があり情報交換を行った。なお、同窓会からは体験施設内のパラソルとテーブルセット10セットを寄付。併せて当該会への予算的支援も行っている。

2. 持続可能な組織をめざして同窓会組織体制(会員・役員)の整備と強化

若手役員の登用(勧誘)をはじめ、組織内の情報を積極的な開示に努めている。そこで、同窓会組織を幹部を中心とした「幹事会(三役、事務局)」と「理事会(幹事+理事)」の2組織とし、特に幹事会はLINEによる情報の伝達及び合意形成(LINEによるリモート会議)を行い情報の扁平化を進めている。また、理事会も定数20人(現在8人)として随時勧誘を行っている。本年度は理事1名の追加就任となった。

3. 組織の広がりを目途に部会(支部)の支援とグループ等の発掘

“部会”とは他校では支部活動として位置づけられる。当会では、会員内の狭義のグループ(3人以上で登録可能)にスポットを当てて当該組織の周知や交流促進更には支援を行っている。卒業生には学年、部活動、地域、職場等で交流がなされておりこれを同窓会で公認することで会員のつながり強化、学校及び同窓会のPRにつながると考えている。現在、7グループの登録がなされ活動状況はHPにアップし、当該グループへの該当者勧誘も行っている。登録すれば、同窓会からの若干の助成金の交付とHPアップなどの広報を行っている。

4. 任期の節目にあたっての準備

規定により来年当初に3年に一度の総会開催予定。会員への会報を含めたDM発送だけでも多額の予算が必要となる。また、総会出席者も少数なため、現在開催の手法を検討中。前回はコロナ禍により予算・決算等を公表してインターネットによる「ネット総会(パブリックコメント手法)」を開催した。次回もこの手法を視野に検討・協議中。

*補足連絡:同窓会室の移転に伴い、経費節減のため頻度の低い固定電話及びFAXを廃止しました。同窓会会員間の連絡はホームページ内の連絡欄活用により実施しています。なお、本会への直接の連絡は、名刺に記述する役員の各携帯電話へご一報お願いいたします。

同窓会 HP アドレス	www.rengo-tokai.jp/fukuoka/	Eメールアドレス	なし(HP欄より連絡) 事務局長高橋: efe398254@lup.bbiq.jp
-------------	--	----------	---

連合同窓会役員（案）

（敬称略）

職名	氏名	所属	備考
会長	青山真士	浦安	
副会長	小林茂	浦安	
	永松明裕	相模	
	内村宏幸	高輪台	
	末松博義	熊本星翔	
	吉野憲彦	札幌	
	鈴木明憲	福岡	
	西谷卓浩	大阪仰星	
	嘉須利誠一	市原望洋	
	金谷義孝	望星	
	早川賢	甲府	新任
事務局長	鈴木康平	浦安	
事務局員	岡本信一	高輪台	
	太田百合子	市原望洋	
	戸塚正人	相模	
会計	田沢弘道	浦安	
	長南友行	望星	
会計監査	鶴岡正拡	市原望洋	
	佐藤英雄	甲府	新任
名誉会長	戸塚雅夫	相模	
顧問	課長 田川聰	東海大学理事長室 学園校友担当	
名誉顧問	茂泉吉則	浦安	
名誉顧問	吾妻俊治	望星	
名誉顧問	高倉利一郎	札幌	
名誉顧問	飯田雅美	市原望洋	
名誉顧問	片桐知己治	高輪台	
名誉顧問	中出光政	相模	新任
名誉顧問	八巻英世	甲府	
名誉顧問	塚野直樹	大阪仰星	新任
名誉顧問	津山憲司	福岡	
名誉顧問	田中義治	熊本星翔	

〈 別 途 資 料 〉

第7号議案

2025年度 予 算(案)

自:2025年4月1日～至:2026年3月31日

収 入 の 部

科 目	予 算 額	摘 要
前年度繰越金	¥267,777	2024年度繰越金
会費収入	¥500,000	会費(50,000円×10校)
広報費収入	¥200,000	負担金(20,000円×10校)
雑収入	¥400	普通預金利息
合 計	¥968,177	

支 出 の 部

科 目	予 算 額	摘 要
総会費	¥300,000	総会経費補助(福岡同窓会)
会長会議費	¥100,000	会場費・お茶代・弁当代など
涉外費	¥30,000	お祝い金など
広報宣伝費	¥200,000	HP管理費等
交通費・宿泊費	¥50,000	会長移動交通費など
事務費	¥30,000	振込手数料・郵送費など
予備費	¥200,000	
小計	¥910,000	
次年度繰越金	¥58,177	2025年度繰越金
合 計	¥968,177	

*やむを得ない事由による予算の変更・追加については、役員会一任とする。

東海大学高等学校連合同窓会会則

2023年10月13日

第1条 名称・所在地

本会は東海大学高等学校連合同窓会と称し、事務局を東海大学付属浦安高等学校同窓会事務局内におく。

第2条 目的

本会は各付属高等学校同窓会との連絡を密にし、会員相互の親睦を図り、東海大学学園校友会の主旨に賛同じ、全付属高等学校の発展と学園全体の発展に寄与することを目的とする。

第3条 会員

本会は下記の会員を以て構成する。

会員: 東海大学各付属高等学校同窓会

賛助会員: 本会の目的に賛同じ、これを助ける個人、または団体で役員会の承認を得た者。

第4条 事業

本会は第2条の目的達成のため、各種の事業を行うことができる。

第5条 役員

本会に次の役量を置き、役員会を構成する。

名誉会長: 1名

会長: 1名

副会長: 各同窓会から代表1名

事務局長: 1名

事務局員: 若干名

会計: 2名

会計監査: 2名

名誉顧問: 各付属高等学校校長

顧問: 連合同窓会OB会長及び東海大学校友会課長

第6条 任期

役員の任期は2年とし、再任を妨げない。

第7条 機関

本会は次の機関を置く。

総会: 各同窓会の代表者によつて構成する。開催地は各校持ち回りとし、原則として年1回開催する。但し、必要と認めたときは臨時に召集することができる。

役員会: 会長が必要に応じて召集することができる。

第8条 会計

本会の運営は各付属高等学校同窓会の会費及び寄付金等をもつてまかなうものとし、会計年度は毎年4月1日から始まり、翌年3月31日までとする。

第9条 協議事項

慶忌等、必要と認められる事項についてはその都度協議する。

第10条 削除

付則

本会会則は総会の議決によつて変更することができる。

この会則は60年6月7日から実施する。

平成3年8月24日

平成18年6月17日

平成19年10月20日

令和5年10月13日

をもつて改正する。

参加者名簿（その1）

学校名	参加者名	11月22日							11月23日			
		前泊	交通経路		会長会議	総会	懇親会	2次会	宿泊	視察	昼食	後泊
新幹線	飛行機											
連合	トツカ マサオ 戸塚 雅夫			○	○	○	○					
浦安	コバヤシ シゲル 小林 茂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	カサイ ヨシノリ 葛西 善憲		○		○	○	○	○	○	○	○	
	スズキ コウヘイ 鈴木 康平	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	タザワ ヒロミチ 田沢 弘道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	アオヤマ シンジ 青山 真士		○		○	○	○	○	○	○	○	
	アオヤマ ヤスヒロ 青山 泰大		○		○	○	○	○	○	○	○	
	イシハラ ユカ 石原 由佳	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
	オガサワ ヨシミツ 小笠原 由光		○		○	○	○	○	○	○	○	
	オガサワ ミウ 小笠原 美卯		○		○	○	○	○	○	○	○	
	ミヤタ フジオ 宮田 富士雄			○	○	○	○	○	○	○	○	
	トツカマサト 戸塚 正人			○	○	○	○	○	○	○	○	
	ハシモトナリト 橋本 成人			○		○	○	○	○	○	○	
	ヤマモトユキオ 山本 幸雄			○		○	○	○	○	○	○	
	オギワラフミヨシ 荻原 央貴			○		○	○	○	○	○	○	
	ヨシザワルミコ 吉澤 ルミ子			○		○	○	○	○	○	○	
相模	ウチムラヒロユキ 内村 宏幸			○	○	○	○	○	○	○	○	
	シシクラオサム 宍倉 修			○	○	○	○	○	○	○	○	
	モリ トシオ 森 俊雄			○	○	○	○	○	○	○	○	
	オカモトシンイチ 岡本 信一			○	○	○	○	○	○	○	○	
	ノムラハルオ 野村 春生			○	○	○	○	○	○	○	○	
	ヒサスエ ヒロヨシ 久末 博義				○	○	○		○	○		
	スミナガ エイイチロウ 住永 栄一郎				○	○	○		○	○		
	トヨタ コウジ 豊田 浩二				○	○	○		○	○		
	モリカワ シゲル 森川 茂				○	○	○		○	○		
	イテ ヒロミ 井手 比呂美				○	○	○		○	○		
熊本 星翔												

参加者名簿（その2）

学校名	参加者名	11月22日							11月23日		
		前泊	交通経路		会長会議	総会	懇親会	2次会	宿泊	視察	昼食
新幹線		飛行機									
札幌	ホンマ マサミ	○		○		○	○	○	○	○	○
	本間 雅実										
	ヨシノ ノリヒコ	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	吉野 憲彦										
	サワダ ユキコ	○		○		○	○	○	○	○	○
	澤田 由希子										
	フシキ モトアキ	○		○		○	○	○	○	○	○
	伏木 素明										
	シナノ トシアキ	○		○		○	○	○	○	○	○
	信濃 年昭										
大阪 仰星	ニシタニ タクヒロ		○		○	○					
	西谷 卓浩										
市原 望洋	カスリ セイイチ	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	嘉須利 誠一										
	ヨシダ ミユキ	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	吉田 深雪										
	オオタ ユリコ	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	太田 百合子										
	ツルオカ マサヒロ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	鶴岡 正拡										
	キド ヒロミ	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	城戸 裕美										
	スズキ ダイキ			○	○	○	○	○	○	○	○
	鈴木 大輝										
	マスミズ ムツアキ			○	○	○	○	○	○	○	○
	舛水 瞳明										
望星	チヨウナン トモユキ			○	○	○	○	○	○	○	○
	長南 友行										
	ハラサワ ジュンイチ			○	○	○	○		○	○	○
	原澤 純一										
	スナガヒテノリ			○		○	○	○	○	○	○
	須永 英典										
	ヤマタ ケンタロウ			○		○	○	○	○	○	○
甲府	山田 弦太朗										
	ハヤカワ タカシ			○	○	○	○	○	○	○	○
	早川 賢										
	サトウ ヒデオ			○	○	○	○	○	○	○	○
	佐藤 英雄										

参加者名簿（その3）

学校名	参加者名	11月22日							11月23日		
		前泊	交通経路		会長会議	総会	懇親会	2次会	宿泊	視察	昼食
新幹線		飛行機									
福岡	スズキ アキノリ				○	○	○	○	○	○	○
	鈴木 明憲										
	イワオ ヒサシ				○	○	○	○	○	○	○
	岩尾 久志										
	タケハラ ヨシツグ				○	○	○	○	○	○	○
	竹原 義嗣										
	ウエノ ハルオ				○	○	○	○	○	○	○
	上野 春男										
	タカハシ ユウジ				○	○	○	○	○	○	○
	高橋 勇次										
	アタラシ キヨミ				○	○	○	○	○	○	○
	新 清美										
	ハナダ サトコ				○	○	○	○	○	○	○
	花田 聰子										
	トヨフク ヨシフミ				○	○	○	○	○	○	○
	豊福 義文										
	タキグチ ヒデト				○	○	○	○	○	○	○
	瀧口 秀人										
	ウメダヤスナカ				○	○	○	○	○	○	○
	梅田 泰睦										
	ニシ ヒロフミ				○	○	○	○	○	○	○
	西 弘文										
	マツザキシユウジ				○	○	○	○	○	○	○
	松崎 修二										
	カワチ ツヨシ				○	○	○	○	○	○	○
	川地 肢										
	ヒグチ トシナリ				○	○	○	○	○	○	○
	樋口 岳成										
福岡 高校	ツヤマ ケンジ	校長			○	○					
	津山 憲司										
	オクムラ ユキオ	事務長			○						
	奥村 幸生										



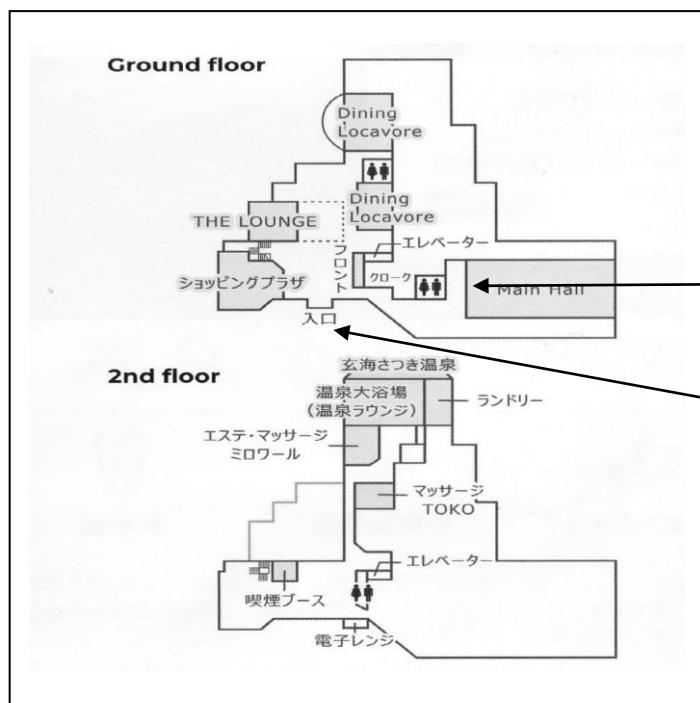
この度の総会開催にあたり役員が一丸となって準備しました。不行き届きの点も多々あろうかと思いますがご容赦ください。

～東海福岡同窓会役員一同～

東海大学付属福岡高等学校全景

一宿泊部屋割表一 「メルキュール福岡宗像リゾート&スパ」

	学校名	部屋番号	宿泊者	宿泊者		学校名	部屋番号	宿泊者	宿泊者
1	浦 安	1101	小林 茂	葛西 善憲		市原 望洋	1119	嘉須利 誠一	鶴岡 正鉱
2		1102	鈴木 康平	田沢 弘道			1120	太田百合子	
3		1103	青山 真士	青山 泰大			1121	吉田 深雪	城戸 裕美
4		1104	石原 由佳				1122	鈴木 大輝	舛水 瞳明
5		1105	小笠原由光	小笠原 美卯			1123	長南 友行	原澤 純一
6	相 模	1106	宮田富士雄			望 星	1124	須永 英典	山田弦太朗
7		1107	戸塚 正人	橋本 成人			1125	早川 賢	佐藤 英雄
8		1108	山本 幸雄	荻原 央貴		札 幌	1126	吉野 憲彦	
9		1110	吉沢ルミ子				1127	本間 雅実	
10	高輪台	1111	内村 宏幸	宍倉 修			1128	沢田由希子	
11		1112	森 俊雄	岡本 信一			1129	伏木 素明	信濃 年昭
12		1113	野村 春男				1130	鈴木 明憲	岩尾 久志
13	熊本 星翔	1114	久末 博義			福 岡	上野 春男		
14		1115	住永栄一郎				1132	竹原 義嗣	豊福 義文
15		1116	豊田 浩二				1029	高橋 勇次	
16		1117	森川 茂				梅田 泰睦		
17		1118	井手比呂美				1030	瀧口 秀人	西 弘文
							1032	松崎 修二	川地 肅
			(宿泊なし)				1032	梅田 泰睦	樋口 歳成
								新 清美	花田 聰子



〒811-3514

福岡県宗像市田野 1303

☎0940-62-4111

「メルキュール福岡宗像

リゾート&スパ」

2 次会懇親会場
(フロントのすぐ裏です)

朝の集合場所
(ホテル玄関 8:30 集合・出

ホテル見取図

第48回東海大学高等学校連合同窓会総会 バス乗車割（2日間共通）

* 行事により乗降があるため人員集計は都度変わります

《1号車》

学校名	人数	氏 名				備 考
浦 安	9	小林 茂	葛西 善憲	鈴木 康平	田沢 弘道	
		青山 真士	青山 泰大	石原 由佳	小笠原由光	
		小笠原美卵				
相 模	6	宮田 富士雄	戸塚 正人	橋本 成人	山本 幸雄	
		荻原 央貴	吉澤 ルミ子			
高輪台	5	内村 宏幸	宍倉 修	森 俊雄	岡本 信一	
		野村 春生				
熊 本 星 翔	5	久末 博義	住永 栄一郎	豊田 浩二	森川 茂	*自家用車来訪（懇親会～ホテル）
		井手比呂美				
連 合	1	戸塚 雅夫				*懇親会後退席
学 校	2	津山 憲司	奥村 幸生			*学校～ホテル～懇親会利用
福 岡 (1)	6	岩尾 久志	竹原 義嗣	高橋 勇次	新 清美	★案内役
		豊福 義文	豊福 義文			

《2号車》

札 幌	5	本間雅実	吉野憲彦	澤田由希子	伏木素明	
		信濃年昭				
大 阪 仰 星	1	西谷 卓浩				*総会後退席（空港～学校）
市 原 望 洋	7	嘉須利 誠一	吉田 深雪	太田 百合子	鶴岡 正拡	
		城戸 裕美	鈴木 大輝	舛水 瞳明		
望 星	4	長南 友行	原澤 純一	須永 英典	山田 弦太朗	
甲 府	2	早川 賢	佐藤 英雄			
福 岡 (2)	9	鈴木 明憲	上野 春男	花田 聰子	瀧口 秀人	★案内役
		梅田 泰睦	西 弘文	松崎 修二	川地 毅	
		樋口 歳成				

せっかく博多に来たっちゃけんちょっと覚えていきい～！

(せっかく博多にお出でいただいたので少し知ってください！)

◆世界遺産・「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群

東海福岡高校の位置する宗像は、古代から大陸との交易の玄関口として国家的な祭祀が行われていました。その拠点となる宗像大社は、日本神話に登場する日本最古の神社の一つ。御祭神は、天照大神の三女神で、沖津宮、中津宮、辺津宮にそれぞれ祀られ、この三宮を総称して、宗像大社といいます。

特に、沖ノ島は“お言わすの島”として地元住民がこれまで守り受け継いできました。この島



沖ノ島で出土した金製指輪



世界文化遺産のシンボル「沖ノ島」

で発掘された埋蔵物8万点は一括国宝とされ、その顕著な文化遺産は、宗像大社を中心にその関連する遺産群も含め、2017年にユネスコの世界文化遺産に登録されました。

◆博多総鎮守「櫛田神社（お櫛田様）」



博多山笠櫛田入り 1番山はここで祝いめでた歌唱

博多の総氏神様としては最古の歴史を有し、天照皇大神（大神宮）、大幡主大神（櫛田宮）、須佐之男命（祇園宮）が祀られています。有名な博多祇園山笠は、7月に開催される祇園宮のお祭りで7月1日から動きが始まり、博多の男衆の血が騒ぎます。7月15日（4時59分スタート）の追い山笠の櫛田入りはお祭りのクライマックスです。櫛田神社の飾り山笠は常設展示されていますが、毎年7月1日に作り替えられます。国重要無形民俗文化財。いわば博多の人の心の置き場。

“山笠があるけん博多たい!!”

《博多弁の紹介》

博多弁は発音も大きく荒い感じがありますが…決して喧嘩をしている訳ではありません!!人懐濃いのです！

★なんしようと（何しているの？）★しゃあしい（うるさい）★しぇんしぇい（先生）
★いぼる（はまる）★すーう・すーう・すー（寒い時の発言）★しぇからしい（うるさい！）★とっ・とーうと（場所や物をキープ）★すいとーと（好きよ）★～やけんね（～だからね）★～たい（～だ）★ちゃっちゃ・くちゃら（めちゃくちゃ）★よか・よか（気になくていい）★すったり・たい（つまらない）★きんしゃい（おい出なさい）★くらす（殴る）★えずい（怖い）★すんまっしぇん（ごめん）★あのくさ（もしもし）

◆「博多祝いめでた」

一、

祝い目出度の若松様よ 若松様よ 枝も栄ゆりや 葉もしゅげる
エーイーショウエー エーイショウエー
ショウエイ ショウエイ ションガネ
アレワイサソ エサソエー ショーンガネー

二、

こちらの座敷は祝いの座敷 祝いの座敷 鶴と亀とが 舞い遊ぶ
エーイーショウエー エーイショウエー
ショウエイ ショウエイ ションガネ
アレワイサソ エサソエー ショーンガネー

三、

さても見事な櫛田の銀杏（ぎなん） 櫛田の銀杏（ぎなん） 枝も栄ゆりや
葉もしゅげる
エーイーショウエー エーイショウエー
ショウエイ ショウエイ ションガネ
アレワイサソ エサソエー ショーンガネー

博多では今でも祝いの席や祭り・物事の節目に欠かせないという「博多祝いうた（祝いめでた）」。「博多祇園山笠」追い山（7月15日）のクライマックス、一番山笠櫛田入りのシーンが一番有名。緊張感の張りつめた中、全員でうたう「博多祝いうた」と「博多手一本」は大迫力でとても感動的。

《歌詞の意味》

エーイショウエー 「えい（掛け声）唱詠、えい唱詠、唱詠、唱詠」（唄いましょう、唄いましょう）
ショウエー 「しょんがねえ」（しょうがない）
アレワイサーソー 「あれ（我）は誘う（さそう／いざなう）、え[掛け声]誘う」
（私も誘いましょう、ええ、誘いましょう）
エーションガネ 「えーしょんがねえ」（ああ、しょうがない）

《博多一本締め》

博多では、行事や祝いの席の締めの手拍子は、独特の習わしがあります。文字にすれば次のとおりです。これが出来れば“博多っ子”たい!!

「よーお」…(シャン、シャン)、

「もう一つしょ」…(シャン、シャン)、

「よーと三度」…(シャン、シャン、シャン)

となります。ぜひ覚えていただき、お土産にしてください。